

2018年12月7日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 石田 健一

ミャンマー国ヤンゴン都市鉄道整備事業
(協力準備調査(有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年11月16日(金) 14:00~16:56
- ・場所：JICA 本部 (1階 111 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、木口委員、福嶋委員、山岡委員
- ・議題：ミャンマー国ヤンゴン都市鉄道整備事業(協力準備調査(有償))に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・事前配付資料：
 - 1) ミャンマー国ヤンゴン都市鉄道整備事業 スコーピング資料
 - 2) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第97回委員会)

- ・日時：2018年12月7日(金) 14:00~16:58
- ・場所：JICA 本部 (1階 113 会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 優先回廊の選定にあたり、プレ F/S での検討結果、並びに、既存および計画中の交通網との接続性を踏まえて、東西線が南北線と比較し優先度が高くなった経緯を DFR に記述すること。

代替案の検討

2. 東西線の線形は全線高架を前提としているが、ROW が十分確保されている区間において、平面案を検討しない理由について DFR に記述すること。

スコーピングマトリクス

3. 調査を通じて騒音・振動のベースライン値を確認し、予測評価を行った上で影響対策の必要性を検討した結果を DFR に記述すること。

社会配慮

4. ライン川の渡河地点で生計を営む住民及び雇用者への影響について季節性を考慮したうえで調査し、必要に応じて対策を講じる旨 DFR に記述すること。

ステークホルダー協議・情報公開

5. 沿線近隣住民が参加しやすい日程と騒音・振動の調査地点の適正性について Township（郡区）毎に地域住民からヒアリングを行ったうえで確認決定すること。

以上